

# 令和8年度 学校経営方針

小笠原村立小笠原小学校 校長 西村 浩

## 1 学校経営の基本的な考え

児童の笑顔で始まり、言葉で自分の思いや考えを伝え合い、本気で力を発揮する児童を育てるために「ほめて共感し考えさせる」教育をすすめる。児童が小笠原に誇りをもち、学校、家庭、地域が一体となり、オール小笠原で教育活動の一層の充実を図る。

「教育は人なり」を基盤に、すべての教員が教育公務員として「自ら育つ」、「組織の意識」を自覚し、使命感と責任をもって児童の成長を喜び合える学校を創造する。校名と校歌に込められた開校当時の期待や思いを受け、本校教育の特色を具現化し形づくる。

今年度も小中一貫教育の義務教育学校化の視点に立ち、学校経営及び学校運営の推進を図り義務教育9年間の学びの連続性を踏まえた教育活動、小・中学校の教員によるチームティーチングなどで教育効果を高める。「児童にとって、集団の中で自分の存在感や役割感を実感することができ、行事等でも達成感や充実感を味わえる学校。保護者・地域にとって、信頼できる・誇れる学校。教職員にとって、やりがいのある学校。」を目指し、令和8年度の学校経営方針を定める。

そして小笠原小学校に関わる全ての人々にとって最幸の学校を創る。

## 2 教育目標

人権尊重の精神を基盤として、一人一人の児童が知性、感性、創造性及び社会性を育み、人間性豊かに成長することを目指し、次の教育目標を定める。

- 自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- 夢や目標をもち、たえず学び続けよう
- 心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう

## 3 経営目標

### 【目指す学校像】

笑顔で始まり、言葉で自分の思いや考えを伝え合い、本気で力を発揮する最幸の学校

### 【目指す児童像】

「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」があふれる児童

○柔軟なものの見方・考え方をもち、学び続ける児童【確かな学力（知）】

○規範意識と思いやりのある児童【豊かな人間性（徳）】

○健康に関心をもち、進んで体を動かす児童【健康・体力（体）】

### 【目指す教職員像】

「教職員が児童の成長を自分のことのように喜び合える」豊かな人間性と指導力、情熱をもち、児童の声に傾聴し、共感できる教職員。

※笑顔・あいさつ・チャレンジ・意識の組織→統一感をもった指導

### 【学期の重点】

1学期：学級の基盤を築く学期（いじめのない学級づくり）

2学期：児童が力を発揮し感動を共有する学期

3学期：児童が自らの学びを振り返り、成長を実感する学期

#### 【確かな学力の育成】

- ◎言語活動を重視し、主体的・対話的・協働的に学び合う授業改善を図る。
  - ・「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」が溢れる授業。
  - ・楽しく学び、じっくり考え、「分かる」「できる」授業。
- 中学校教員との協働授業を行う。
- 思考力・判断力・表現力の育成を図る。
  - ・児童の考えを広げたり深めたりする対話的な学び、学習者用端末の効果的な活用を図る。
- ◎小笠原学習（体験学習）を充実させる。
- 千代田区立麴町小学校（2・4・5年生）、母島小中学校（4・5・6年生）との学習交流を計画的に進める。
- ユニバーサルデザインを意識した授業を行う。
  - ・授業に集中できる環境、分かりやすい授業の工夫、見通しをもたせる。
- 1年生のスタートカリキュラムを実施する。
  - ・学校生活への安心感、学ぶ楽しさと規律の定着を図る。
- 家庭学習を進める。
  - ・基礎基本、自主学習（学習者用端末の活用）、読書など。

#### 【豊かな心の育成】

- ◎互いに認め合い、児童にとって居心地の良い学級・学校づくりに努める。
- 落ち着いたある静かな教室で本に浸る時間と読み聞かせを進める。
- ◎「あいさつ」「返事」「靴を揃える」ことを意識して学校生活を送る。
- 一人一人がかけがいのない存在として安心して学べる環境をつくる。
  - ・道徳授業の充実や全ての学級で温かい言葉遣い、呼名による心と体のケア（健康観察）など。
- 美（うるわ）しい環境をつくる。
  - ・温かい言葉遣い、きれいな教室、掲示物など。
- いじめをしない、させない、見逃さない。
  - ・心の健康アンケート（月1回）、いじめに関する授業（学期1回）、ふれあい月間など。
- 仲よし班活動の充実を図る。
- 家庭との連携を強化する。
  - ・土曜公開授業、個人面談、保護者会、ボランティアなど。

#### 【健やかな心と体の育成】

- ◎自分の心と体にしっかりと向き合う健康教育を進める。
- 児童が夢中になり、仲間とよりよく関わる体育指導の工夫・改善を図る。
  - ・児童の実態を把握する。児童との対話を通して学習を進める。
  - ・児童自らが運動の楽しさや喜びを実感する。
- 連合運動会、運動集会の意図的・計画的な実施を行う。
  - ・児童主体の取組、活動を行う。
- ◎校庭遊び（体育館遊び）を奨励する。
  - ・仲よし班遊び、学年遊びなど。
- 3年生以上の保健学習（担任と養護教諭）、食育の充実を図る。
  - ・食育の推進（バランスの良い食事：外部機関との連携）
  - ・がん教育、歯と口腔の健康づくりの推進
  - ・早ね・早起き・朝ごはん・朝うんち
- 3年生以上は保健学習、1・2年生は学級指導や生活科などで、健康課題について取り組む。

教育目標を具現化するために「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心と体」をバランスよく育み、特色ある教育活動を進めます。